

# 一般社団法人日本ファームステイ協会主催 研修コンテンツ 一覧

農泊実践地域と支援事業者の皆さまが国際市場に求められているサービス水準を満たし、旅行者にとって魅力的な地域づくりのために、本会は求められているサービス品質の情報を提供し、農泊主体の発意によるレベルアップ支援プログラムを提供しています。各種研修会開催のご検討お願い致します。

# 一般社団法人日本ファームステイ協会主催 研修コンテンツのお申込みにあたって

## 1. 研修費用

- (1)ご依頼後にお見積りを作成させていただきます。
- (2)会場費・講師交通費・宿泊費(実費)等は、別途ご負担願います。
- (3)ご案内のプログラム以外のオーダーメイド研修については、別途、講師等のご相談を受け承ります。  
※ご紹介した講師へのお支払いは直接、研修講師へお願いいたします。

2. 研修時間 各研修により異なります。

3. 研修会場 主催者指定会場になります

4. 研修方法 主催者指定方法になります レイアウト:スクール形式・ワークショップ形式・オンライン形式 等

5. 受講者数 各研修により異なります。

6. 申込手順 (1)研修(講師)の依頼➡(2)日程の調整(第3希望まで連絡)➡(3)ご回答➡(4)研修実施

◆ 研修コンテンツの詳しいお問い合わせは、

○一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

【担当：前場・出原・床次】

住所 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8 GEEKS AKIHABARA 4F

電話 : 080-4002-4987 FAX : 03-5297-0260 E-Mail : zemba@i-znk.jp

# 研修実施の流れ

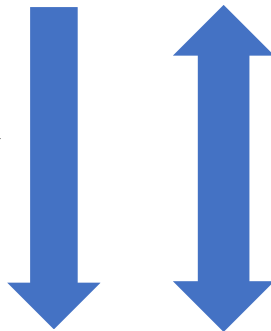
依頼者様

受講者様

④集客・受講受付



①メール・電話で  
のご依頼



③日程調整

JPCSA事務局



②講師依頼



⑤研修実施

研修講師

# 「農泊の手引き」に即した研修コンテンツ リス

NO.	【研修項目・キーワード】・研修名	「農泊の手引き」活動内容との連動	研修難易度	研修の成果	研修講師・担当	講義時間
新しい生活様式に即した農泊の実践						
1	【販売・予約・決済対応】OTAの導入	第3章4-1	基礎編	OTAの登録までの基礎理解	大野 彰則	2時間
2	【販売・予約・決済対応】OTAの活用	第3章4-1	応用編	OTAを有効なツールとして活用	大野 彰則	2時間
3	【新型コロナウイルス感染症対策】ガイドラインの活用と事例紹介	第3章1-7	基礎編	ガイドラインの利活用と作成方法習得	金子 衛	2時間
4	【新しい生活様式に即した地域コンテンツ】ワークショップとマイクロツーリズム	第3章3-1	応用編	コロナ禍における有効なコンテンツを理解	大野 彰則	2時間
農泊全般<農泊の基礎について学びたい>						
5	【農泊の理解・現状認識】農泊の意味を知る・地域の現在を知る	第2章	基礎編	農泊実践の理解と地域の現状認識の把握	大野 彰則	2時間
体制づくり・経営・ニーズ把握<組織体制をつくりたい強化したい・ビジネスプランを策定したい・ニーズ等を把握したい・顧客の絞り込みをしたい>						
6	【事業計画策定】事業計画を作る	第3章1-1~2	基礎編	事業計画策定までの基礎理解	谷口 雅彦	2時間×3回
7	【資金調達】資金調達の準備と調達方法	第3章1-3	応用編	資金調達の準備と調達方法の習得	米持 貴史	2時間
8	【合意形成】多様な関係者の参画、協議会の設立、地域内の人々の合意	第3章1-4	応用編	多様な関係者、プレーヤーとの合意形成の意義を理解	大野 彰則	2時間
9	【法人化】法人を設立する	第3章1-5	応用編	法人化までの具体的方法の習得	仁村 大祐	2時間
10	【人材確保・育成】人材の見つけ方、専門家の受入等による人材育成	第3章1-6	応用編	人材確保と育成方法を習得	大野 彰則	2時間
11	【リスクマネジメント】安全管理研修（基礎編）	第3章1-7	基礎編	リスクマネジメントの必要性と洗い出しの方法	金子 衛	2時間
12	【リスクマネジメント】安全管理研修（応用編）	第3章1-7	応用編	安全管理マニュアルの必要性と保険に関する基礎知識	金子 衛	2時間
13	【ニーズ把握】ニーズ等の把握と顧客の絞り込み	第3章2-1~2	応用編	ニーズ・規模・成長性の把握と顧客の絞り込みの手法を理解	前場 大樹	2時間
地域コンテンツ<農泊コンテンツを開発・ブラッシュアップしたい>						
14	【地域コンテンツ全般】地域資源の発掘	第3章3-1~1.1	基礎編	地域資源の隠れた地域資源を見つけ出す方法とリスト化	安田 晃一	2時間
15	【地域コンテンツ全般】体験メニュー開発	第3章3-1~1.1	基礎編	独自性のある体験メニューの開発とタワ化	安田 晃一	2時間
16	【地域コンテンツ全般】ターゲット別滞在プログラム開発	第3章3-1~1.1	基礎編	ターゲットに向けた滞在プログラムの開発と行程表・積算表	安田 晃一	2時間
17	【地域コンテンツ全般】モニターツアーの企画と実施	第3章4-3	応用編	運営表や各種文書作成、アンケート方法を習得	安田 晃一	応相談
18	【宿泊】農家民宿・民泊の開業	第3章3-3	基礎編	開業までの手続きを理解	前場 大樹	2時間
19	【食事】地場産食材を活用した食事メニューの磨き上げ	第3章3-4	応用編	地場産食材を利用したメニュー開発の習得	前場 大樹	2時間
20	【6次産業化】地場産食材を活用した加工品の開発	第3章3-4	応用編	加工品の開発や販路拡大に向けた基礎理解	前場 大樹	2時間
21	【旅行業法・旅行契約】旅行業を巡る法制度について	第3章3-5	基礎編	旅行業登録に関する関連法令を理解	福井 伸之	2時間
22	【品質向上、品質認証】持続可能な品質の維持向上	第3章3-1.1	応用編	品質向上の重要性、品質評価支援制度の理解	青木 辰司	2時間
販売・プロモーション<販売・情報発信・プロモーションを強化したい>						
23	【販売・情報発信・プロモーション全般】販売・情報発信・プロモーション概論	第3章4-1~3	基礎編	デジタルマーケティングに関する基礎理解	大野 彰則	2時間
24	【情報発信】情報発信の具体的手法	第3章4-2	応用編	SNSや動画等の発信ツールの効果的な活用を習得	大野 彰則	2時間
25	【プロモーション】ファムトリップ企画と実施	第3章4-3	応用編	販路拡大のためのネットワーク構築を目的としたファムトリップ	前場 大樹	応相談
インバウンド<インバウンドの受入を強化したい>						
26	【外国人受入・多言語対応】インバウンドの受入と環境整備	第3章5-1~4	基礎編	外国人旅行者の受入までの基礎理解	大野 彰則	2時間

※複数講師が対応可能

2022年4月現在：諸事情により変更の可能性がございます。

## 1. OTAの導入

### 「農泊の手引き」 第3章4-1

### 基礎編

インターネットが普及した昨今、特に宿泊施設の予約にあたり、電話、メール、自治体・中間支援組織の紹介といった窓口だけでは、FIT（個人旅行者）から予約され難いと言われています。

本研修では、OTA（Online Travel Agent）：インターネットを利用した旅行代理店または彼らが運用・提供している予約サイト）を利用する意義、予約サイトページ作成の基礎的实践までをカバーします。



所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	OTAの利用に関心ある農林漁家民宿オーナー等
内容	(1) 農泊の宿泊施設はなぜOTAを使うとよいのか (2) 主な世予約サイトの種類と特徴を知る (3) 予約ページの作成の実際
期待される成果	OTAを利用する意義、利用方法の理解を通してインターネットを使った集客体制の整備
注記	<ul style="list-style-type: none"><li>座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。</li><li>集合研修、個別研修いずれでも対応できます。</li><li>「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。</li></ul>

# ・OTAを有効なツールとして活用

## 2. OTAの活用

### 「農泊の手引き」 第3章4-1

### 応用編

本研修では、基礎的なOTA活用の知見をベースに、更に効率的にインターネットを集客ツールとして活用する手法を事例を交えて学びます。

#### LINE公式アカウント

"Green Note"の情報発信と予約受付・コミュニケーション



#### airbnb

農家民宿"花ごよみ"に集客



☆☆☆PittINN Farm Hanagoyomi☆☆☆ (花ごよみ) 1-2名 囲炉裏部屋

農家の個室  
ホストはAtsukoさん

#### Google Maps

地図情報もバッチリ！  
LINEへの予約導線もバッチリ！



所要時間

2 時間

価格

応相談

受講者像

OTAをもっと活用したい農林漁家民宿オーナー等

内容

- (1) パソコンなしでWebを活用できるサービスを使う
- (2) 消費者の宿泊需要を取り込む準備をする
- (3) 宿泊予約サイト以外のWeb活用
- (4) 実践者に学ぶWeb活用事例

期待される成果

複数のOTAやインターネットツールを活用してより効果的に集客する手法を学ぶ

注記

- 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。
- 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。
- 「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。

# 3. 感染症対策ガイドラインの活用と事例紹介

## 「農泊の手引き」 第3章1-7

## 基礎編

Withコロナを見据え、事業者で提供するサービスの場面ごとに基本的対応と具体的な感染予防を検討し、実践することが求められています。本研修では、農家民宿事業者向け、自然体験・教育旅行事業者向けに新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインとチェックリストの作成について学びます。

所要時間	2時間（質疑応答含む）
価格	応相談
受講者像	
内容	(1) 感染症防止対策の正しい理解 (2) 基本的対応と具体的に実践できる感染予防 (3) 業態別対策とガイドラインを活用した企画実施の事例紹介 (4) ガイドライン作成に必要なポイント (5) ガイドライン策定と運用の必要性 (6) チェックリストの作成
期待される成果	事業計画の策定を目指します。
注記	<ul style="list-style-type: none"><li>座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。</li><li>集合研修、個別研修いずれでも対応できます。</li><li>密度の高い計画を立てる場合は、地域内のコアなメンバーで開催されることをお勧めします。</li></ul>

### 4. 場面【農園】





# 4. ワークーションとマイクロツーリズム

## 「農泊の手引き」 第3章3-1

## 基礎編

コロナ禍の新しい生活様式が求められる環境下、市場の拡大が期待されているワークーションやマイクロツーリズムについて、基礎知識や実践事例を学ぶとともに、各種調査や関係者ヒアリングによる課題やニーズを共有します。合わせて、各地域における市場性を考慮した、アドバイスも行います。

説明資料(イメージ)



【新しい生活スタイルのひとつのカタチ】

所要時間	2時間（質疑応答含む）
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) ワークーション・マイクロツーリズムとは (2) 各種調査やヒアリングによるニーズ・課題 (3) 実践事例の紹介 (4) 該当地域における市場性 (5) 実践に向けたアドバイス
期待される成果	・ ワークーションやマイクロツーリズムの取り組みへの理解が深まります ・ 地域にある様々な資源（人・食・農など）の価値を再発見することに繋がります
注記	・ シンポジウム形式やワークショップ形式等のご相談にも応じます。



# 5. 農泊の意味を知る・地域の現在を知る

## 「農泊の手引き」 第2章

## 基礎編

農林水産省では、農山漁村の所得向上を実現するための重要な柱として、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ、農山漁村型滞在旅行である「農泊」を推進しています。この農泊の取り組みをより多くの地域の皆様に広く普及し、農山漁村地域における農泊の取り組みの促進と機運の醸成、更には事業参画のきっかけとすること目的に開催します。

セミナー告知(イメージ)



所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 農泊とは？</li> <li>(2) 農泊の推進が地域にもたらすもの</li> <li>(3) 地域の宝を活かした体験プログラム</li> <li>(4) 農家民宿・民泊を活かした交流</li> <li>(5) 農泊地域の事例紹介</li> </ol>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農泊の取り組みへの理解が深まります</li> <li>・ 地域にある様々な資源（人・食・農など）の価値を再発見することに繋がります</li> </ul>
注記	農泊へ参画するきっかけづくりの場となりますので、多数の団体、住民への参加の働きかけをお願いいたします。

## 6. 事業計画を作る

「農泊の手引き」 第3章1-1～2

基礎編

農泊に地域ぐるみで取り組んでいくためには、地域の中心的な役割を担う中間支援組織のビジネス化が重要です。この研修では、今後の組織の事業計画を作成することで、農泊地域づくりについて実践的に学ぶことができる内容となっています。地域の農泊事業の「目標・ビジョン」と目標達成時に地域が備えているべき「機能や役割」を洗い出し、地域が目標に向けて取り組む活動スケジュール、事業予算や年度別目標値の設定等、事業計画を見える化する手法をワークショップで習得します。



研修(イメージ)

所要時間	2時間 x 3回
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	全てワークショップ形式 (1) 地域リーダーのあり方 (2) 地域ビジョンの策定 (3) 取組戦略 (4) 取組戦術 (目的分析・活動スケジュール) (5) 収支計画表
期待される成果	事業計画の策定を目指します。
注記	<ul style="list-style-type: none"><li>座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。</li><li>集合研修、個別研修いずれでも対応できます。</li><li>密度の高い計画を立てる場合は、地域内のコアなメンバーで開催されることをお勧めします。</li></ul>

# 7. 資金調達の準備と調達方法

「農泊の手引き」 第3章1-3

応用編

事業のスタートアップやステップアップの過程で、資金調達は不可欠なプロセスの一つです。

本プログラムでは、資金調達の手段について、基礎知識を習得するとともに、準備から調達方法についてアドバイスします。

基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 資金調達の準備 (2) 資金の調達方法
期待される成果	資金調達のサポート
注記	・基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

# ・多様な関係者、プレイヤーとの合意形成の意義を理解

## 8. 多様な関係者の参画、協議会の設立、地域内の人々の合意

### 「農泊の手引き」 第3章1-4

### 応用編

農泊実践に向けた取り組みには、自治体や観光協会をはじめ、地域の様々な組織や団体さらには自治会や地域の女性組織などの参画が不可欠です。

本プログラムでは、関係者が参画から協議会設立、地域内の合意形成までのプロセスについてアドバイスします。

基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 多様な参画者の参画 (2) 協議会設立と役割 (3) 地域内の合意形成
期待される成果	多様な関係者の参画、協議会の設立、 地域内の人々の合意
注記	・基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

# 法人化までの具体的方法の習得

## 9. 法人を設立する

### 「農泊の手引き」 第3章1-5

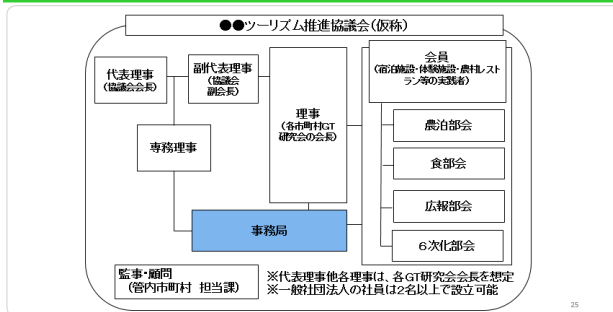
### 応用編

農泊等の地域協議会にとって、法人化は持続可能で自立した運営・経営をしていく上で重要なプロセスの一つです。

この研修では、法人化を目的とするのではなく、協議会の目的・目標に向けて法人化が手段であることを押さえながら、必要なポイントな手続きを解説します。

基本的に、説明資料(1)(イ)の相談内容に応じて対応させていただきます。

法人化後の組織形態 体制イメージ (案)



所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 法人化の必要性 (2) 主な法人の形態 (3) 設立に必要な手続き (流れ) (4) 設立にかかる費用と期間 (5) 法人化後のイメージ (体制イメージ、経営モデル、事業内容)
期待される成果	・法人化に向けた具体的な行動の実践
注記	・基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

## 10. 人材の見つけ方、専門家の受入等による人材育成

### 「農泊の手引き」 第3章1-6

### 応用編

農泊では、様々な得意分野を持った多様な人材が活躍できる可能性があります。

地域内でそれらの人材を確保。育成することが利用ですが、内外のネットワークを通じて、地域の外から人材を確保することも考えられます。

本プログラムでは、地域内外にまたがる人材の見つけ方や育成手法についてアドバイスさせていただきます。

基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。

所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) 人材の見つけ方 (2) 専門家の受入や外部研修 (3) 地域内勉強会などによる人材育成 (4) 先進地への視察
期待される成果	人材の発掘、専門家の受入等による人材育成
注記	・基本的には、ご相談内容に応じて対応させていただきます。



# ・リスクマネジメントの必要性と洗い出しの方法

## 1 1. 安全管理研修（基礎編）

### 「農泊の手引き」 第3章1-7

### 基礎編

農山漁村滞在型旅行において、お客様の安全確保は何よりも優先されるべき事項です。この研修では、最も安全管理が難しい子ども達の受入を題材として、過去に起きた事故の事例や裁判の事例等をご紹介しながら、安全管理の重要性について理解を深めます。また、安全管理の最初のステップとして、リスクの洗い出しからリスクへの対応について、ワークショップを通じて、これらの手汁を習得します。



ワークショップ(イメージ)

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	受入地域のリーダーから受入農家まで、受入に係わる全ての人にとって有益です。
内容	(1) リスクマネジメントとは何か (2) 事故事例から学ぶリスクマネジメント (3) ワークショップ - リスクの洗い出し - リスク対策の検討
期待される成果	研修受講者は次の理解が深まります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ リスクマネジメントの必要性</li><li>・ リスクマネジメントの一般的な方法</li><li>・ リスクの洗い出しの方法</li><li>・ リスク対策の検討方法</li></ul>



## 12. 安全管理研修（応用編）

### 「農泊の手引き」 第3章1-7

### 応用編

農山漁村滞在型旅行の受入数を増やしていくためには、旅行会社との連携は不可欠です。しかし、旅行会社は安全安心な受入体制がある地域を旅行者の皆様を紹介したいものです。では、受入地域はどんな体制を整備すれば、旅行会社に紹介してもらえるのでしょうか。この研修では、受入地域として備えておくべき安全管理体制として、安全管理マニュアルと保険に焦点を絞って理解を深めます。なお、この研修は受入地域の体制作りについて説明します。受入団体の代表者や事務局等、受入の中心となる方々に受講していただきたい内容です。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	受入地域の代表者や事務局等、受入の中心となる方々が対象
内容	(1) 安全管理マニュアルの必要性 (2) 安全管理マニュアル作成のポイント (3) 保険の掛け方
期待される成果	研修受講者は次の理解が深まります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全管理マニュアルの必要性</li><li>・ 安全管理マニュアルに最低限含まれるべき情報</li><li>・ グリーンツーリズム関連の保険に関する基礎知識</li></ul>
注記	基本編受講後に上級編に進まれることが望ましいです。

# 13. ニーズ等の把握と顧客の絞り込み

## 「農泊の手引き」 第3章2-1～2

## 応用編

地域に人を呼び込むためには、一定のターゲットを設定することが不可欠ですが、そのニーズや市場性等を踏まえ、予め可能性を把握することが重要なポイントになります。

この研修では、既存ターゲットの拡大や新規ターゲットの掘り起こし・創造など、多様な可能性を加味しながら、地域に親和性のあるターゲットの設定について座学とワークショップを通じて学びます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者、受入地域の方々 等
内容	(1) 地該当域における市場性の確認 (2) 既存ターゲットの整理 (3) 新規ターゲットの可能性 (4) ワークショップ
期待される成果	「ターゲットリスト」が出来上がります。
注記	

重点ターゲット	食コンテンツ	体験コンテンツ	観光コンテンツ	宿泊先	PR先	PR方法
女性(ミドル～シニア層)	①ゆめのにごり料理館(屋敷のぐさ食) ②北海道産コンパチがはむすび弁当(飯納) ※体験を含む	農業体験、食の体験 アワーアレンジメント等	奥只見湖(湖上遊覧、紅葉)、枝折峠(滝壺)等	奥只見谷温泉(旅館・民宿)	JA女性部 農業型企画旅行	旅行会社(主に関東・中部管内)による営業 深雪の里による営業
法人・企業(経営研修・イベント)	①ゆめのにごり料理館(屋敷のぐさ食) ②北海道産コンパチがはむすび弁当(飯納) ※体験を含む	農業体験、食の体験、観察研修 等	奥只見湖(湖上遊覧、紅葉)、枝折峠(滝壺)、雪中体験センター等	奥只見谷温泉(旅館・民宿)	農業観光団体 法人企業による職員・社員向け研修 法人企業による利用者・消費者向けアワー	①旅行会社(主に関東・中部管内)による営業 ②自治体関係

# 地域資源の隠れた地域資源を見つけ出す方法とリスト化

## 14. 地域資源の発掘

### 「農泊の手引き」 第3章3-1～

### 基礎編

受入地域に多くの旅行者を呼び込むために、受入地域は地域資源を発掘し、これを魅力ある観光コンテンツとして磨き上げることが求められています。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて地域に隠された観光資源を洗い出し、その地域資源を整理する方法を地域資源リスト(イメージ)学びます。

地域資源リスト(自治体別)	市町村名	施設名	部署	研修人数	宿泊料金 (元/1泊2食(朝食は別注))	連絡先(TEL)	主な体験プログラム	研修への 入会	研修への 入会	備考
入吉市	つばき荘	1	50	泊2食大人6,500円	0966-23-4687	餅を擗りたてを炭火で焼いて食べる 焼酎、粟拾い、しいたけ収穫、ソウダ酸っぱい	入会済		隠れた宿泊施設 豊富な自然環境で収穫した野菜料理が自慢	
入吉市	清水戸の宿	1	50	泊2食大人6,500円	0966-24-6344	郷土料理、まんじゅう作り	入会済		緑豊かな川沿いにあり、徒歩10分で清水戸温泉利用出来ます。宿にはたくさんの本があります。	
入吉市	庄崎香	1	40	泊2食大人6,500円	0966-22-6535	美味しい、アイチモの作り、茶摘み、夏野菜の収穫	入会済		自然豊かな年中季節の花があり、自然豊かな温泉施設も充実しています。研修での宿泊、地元のお土産を割引しがいた付きます。オーガー夫婦の道いもてなし満足度100%、多くのレビューが寄せられます。農業体験へのご案内も出来ます。	
鎌崎町	平岩の和ちゃん家	2	50	泊2食大人6,500円	0966-38-0169	石のアーチ、郷土料理作り、竹アートなど	入会済		世界に誇れる「無敵の湯」に認定された百太郎温泉に隣接する農家民宿です。(おそらく)全園の農産物は無農薬栽培で安全です。	
多良木町	農家民宿 ゆうがの社	1	50	泊2食大人6,000円	0966-42-5223	季節の創作菜	入会済		一泊一食、ベトナムシシトウ×3、ダブル×1、農業不使用野菜とハーブの提供	
多良木町	農家民宿 とよのあかり	2	50	泊2食大人6,500円	090-5729-2886	竹灯籠作り、家畜料理作り、農業体験	入会済		年の末農家を経営しています。研修の宿舎は、研修予定の季節に農業体験用に備えています。	
多良木町	農家民宿 氏神の宿古多丸	2	40	泊2食大人6,000円	080-3955-4146	稲の刈り取り、子牛のミルク作り、牧草運び、野菜の収穫	入会済			

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者、受入地域の方々 等
内容	(1) 地域資源とその整理の方法 (2) 事例紹介 (3) 季節別・対象別等、観光資源の抽出と仕分け (4) グループワーク
期待される成果	研修終了後には、「地域資源リスト」が出来上がります。

注記	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップの時間内には成果品は出来上がりません。研修参加者が課題を確実にこなすことが必要です。</li> <li>地域資源の発掘は、1回の研修だけで完成するわけではありません。継続的に、研修を活かして地域内で同様の研修を自主的に実施することによって、地域の観光資源を豊かにすることが望まれます。</li> </ul>
----	---

# ・独自性のある体験メニューに開発とタリフ化

## 15. 体験メニュー開発




### 「農泊の手引き」 第3章3-1～

### 基礎編

受入地域に旅行者を呼び込むためには、個々の地域資源を磨き上げることが大切です。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて、地域資源リストを元に各体験メニューのタリフを作り上げるプロセスを学びます。

#### 体験メニュータリフ(イメージ)

プログラム情報シート	
プログラム名	動物ふれあい体験
プログラムの説明	羊の糞をよく見たことありますか？羊の舌が長いこと知っていますか？目の前で動物を見ることができると、動物たちの顔を見てみるのがとても楽しいです。
体験開始時間	連年
実施場所	動物広場
所要時間	9分
開催時間	個人 9:00～開園30分前 団体 9:00～開園30分前
料金	個人 1カップ100円 団体 1カップ100円
最少実行人員	個人 1名 団体 20名
最大実行人員	個人 100名(入替り) 団体 100名(入替り)
予約可能日	個人 ○ 1日前まで ○ 2日前まで ○ 3日前まで ○ 4日前まで ○ 5日前まで 団体 ○ 1日前まで ○ 2日前まで ○ 3日前まで ○ 4日前まで ○ 5日前まで
注意事項(持ち物・服装等)	ペットスエア入場は別途(大人300円、4歳～中学生まで200円)
参加制限	幼児は保護者同伴
対応可能言語	日本語
プログラムの流れ	エサを持つ→動物広場で移動→エサやり
写真(イメージ)	  

所要時間	2時間
価格	応相談
内容	(1) 地域資源リストからタリフ化するメニューの抽出 (2) タリフ作成のポイント(ネーミング・コンセプト・値付けなど) (3) タリフ作成ワークショップ (4) ワークショップ講評 (5) 実地踏査の必要性
期待される成果	研修終了後には、「体験メニュータリフ」が出来上がります。
注記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源発掘編から継続受講が望ましいです。</li> <li>・ ワークショップ終了後、実地踏査することによって、研修成果品を最終化することが望まれます。</li> <li>・ 研修では、サンプルとして最大4本のツアーを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象者別、季節別の体験プログラムを作り続けることが望まれます。</li> </ul>

# 16. ターゲット別滞在プログラム開発

## 「農泊の手引き」 第3章3-1～:

## 基礎編

受入地域に旅行者を呼び込むためには、地域の観光資源を活用して、魅力ある滞在プログラムへと磨き上げることが必要です。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて、ターゲットとする旅行者に応じた滞在プログラムを作り上げるプロセスを学びます。

### 【個人向け】かんねみ農泊 体験型モデルコース（1日）

〇研修期間: 1日間  
〇研修人員: 20名程度  
〇研修会場: 天守カナル 全休付(4泊)  
〇研修料: 天守台本館・アオボロゆめ 大人@1,000円/小学生@500円  
研修交通: 月式立寄 乗車@1,100円(朝:1,100円/夜:1,100円)  
乗車立寄: 乗車@1,100円(朝:1,100円/夜:1,100円)  
乗車立寄: 乗車@500円(朝:500円/夜:500円)  
乗車立寄: 乗車@500円(朝:500円/夜:500円)  
〇その他:

時間	場所	内容	備考
10:00	月見天文台	①農の館・フリスクリウム ②農よからの富士山眺望	
11:00			
研修午膳		昼食	
11:30	観音堂 オラツチエ	①農舎・バーベキュー(70分) ②農舎・アオボロゆめ(40分) ③農舎・観音堂オラツチエ(30分)	
12:30			
14:30	道の駅・川の駅 伊豆ゲートウェイ 農	①賞物 ②水遊び 輪	
15:30			
15:45	道トピア かんねみ	送別入浴	
17:00			

所要時間	2 時間
価格	応相談
内容	(1) 対象とする旅行者層とテーマの特定 (2) 地域資源の選択と体験メニューの造成 (3) 体験メニューの組み合わせによるツアー行程表の作成 (4) ツアー現地費用の概算 (5) ワークショップ講評 (6) 実地踏査の必要性
期待される成果	研修終了後には、「行程表(案)」と「現地概算費用(案)」が出来上がります。
注記	<ul style="list-style-type: none"><li>地域資源発掘編から継続受講が望ましいです。</li><li>ワークショップ終了後、実地踏査することによって、研修成果品を最終化することが望めます。</li><li>研修では、サンプルとして最大4本のツアーを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象者別、季節別の体験プログラムを作り続けることが望めます。</li></ul>

# 17. モニターツアーの企画と実施

## 「農泊の手引き」 第3章4-3

## 応用編

各種ワークショップにより机上で造成された観光コンテンツを、モニターツアーを実施することで受入体制や役割分担、収益性等の有効性が検証できることに加えて、旅行者のニーズを把握することができます。

また、モニターツアーの様子を画像や動画で記録することで、今後のプロモーションツールとして利活用することもできます。加えて地域のモチベーションを上げる効果も期待できます。

モニターツアー(イメージ)



所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1) プログラムへの事前アドバイス (2) 受入体制・役割分担の事前確認 (3) 集客支援 (4) 当日の運営支援 (5) モニターツアーの評価・分析と提案
期待される成果	・ 受入にあたっての運営表の作成 ・ お客様への案内文書の作成 ・ アンケートの作成と集計、分析と提案
注記	ターゲット、提供プログラム、集客方法、運営方法等により、内容・ご予算等のご相談に応じます。



# ・開業までの手続きを理解

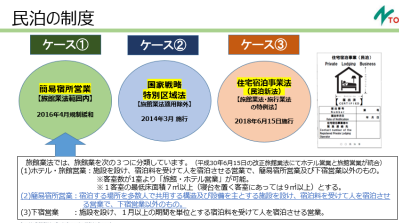
## 18. 農家民宿・民泊の開業

### 「農泊の手引き」 第3章3-3

### 基礎編

農山漁村滞在型旅行では、地域にある多様な宿泊施設と回遊型の体験コンテンツの充実が必要不可欠となります。地域に何度も訪れていただきリピーターの獲得に向け、交流を介した様々なプログラムでおもてなすことが重要です。

この研修では、農家民宿・民泊での宿泊における交流に関する事例を紹介すると共に、開業に至るまでの一連の**開催プロセス**を学んでいきます。



所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会・地域の方々 等
内容	(1) 農家民宿・民泊をとりまく情勢 (2) 旅館業法と民泊新法の違い (3) 開業に向けたポイント (4) 宿泊者との交流
期待される成果	農家民宿・民泊の開業までの手続きを理解することができます。事例を通じて、お客様との交流のイロハを知ることができます。
注記	・ 開業の手続きなど、具体的な対応方法についての講義は行いません。 ・ 県・市町村の条例等により、開業手続きが異なる場合がございます。



# ・地場産食材を利用した食事メニューの開発

## 19. 地場産食材を活用した食事メニューの磨き上げ

### 「農泊の手引き」 第3章3-4

### 応用編

各産業間の連携による農村の活性化や農業経営の多角化のキーワードとして「6次産業ということばが注目されています。農業本来の第1次産業だけでなく他の第2次・第3次産業を取り込み付加価値をつくることをご支援します。

食事メニューの新規開発・改善・レベルアップ等についての課題に対して、専門アドバイザーを派遣し、メニュー開発の支援を行います。

ビーガンを含むベジタリアンやハラルルに関してのご相談についても応じます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1)食事メニュー開発 (2)マーケティングに関するアドバイス (3)プロモーションに関するアドバイス
期待される成果	食事メニューの開発（レシピ作成）や販路拡大に繋がります。

#### 開催(イメージ)



# 20. 地場産食材を活用した加工品の開発

## 「農泊の手引き」 第3章3-4

## 応用編

各産業間の連携による農村の活性化や農業経営の多角化のキーワードとして「6次産業ということばが注目されています。農業本来の第1次産業だけでなく他の第2次・第3次産業を取り込み付加価値をつくることをご支援します。

加工品の新規開発・改善・レベルアップ等についての課題に対して、専門アドバイザーを派遣し、メニュー開発の支援を行います。

また通販事業を中心としたアドバイスも可能です。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	協議会関係者 等
内容	(1)商品開発 (2)マーケティングに関するアドバイス (3)プロモーションに関するアドバイス
期待される成果	食に関するコンテンツの開発や販路拡大に繋がります。

### 開催(イメージ)



## 21. 旅行業を巡る法制度について

### 「農泊の手引き」 第3章3-5

### 基礎編

旅行業関連の法制度について概要を知っていただきます。適法に事業を行うことを強く求められてきている近年で、しっかりとした旅行業法の知識を身に付けていただきます。

さらに旅行業法関連の登録、資格について概要を知っていただきます。

旅行業登録に関する関連法令を短時間で参加いただいた方々にお伝えしていきます。

所要時間	2時間（ご相談に応じます）
価格	応相談
受講者像	宿泊・観光サービス事業者、地域協議会 等
内容	(1) 旅行業の成り立ち&ヒストリー (2) 旅行業関連の法制度 (3) 旅行業法関連の登録/資格 (4) 振り返り・まとめ
期待される成果	旅行業登録に関する法令の理解ができます。
注記	オンラインで実施することも可能です。

## 22. 持続可能な品質の維持向上

### 「農泊の手引き」 第3章3-11

### 応用編

「農泊」をビジネスとして実践し持続可能な農山漁村地域につなげるには、継続的な品質の維持向上に取り組む必要があります。

品質の向上により利用者には安心・安全な情報・サービスを提供し集客の向上につなげ、地域は適正な料金を収受し、持続可能な経営をめざします。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	宿泊・観光サービス事業者、地域協議会・DMO関係者、旅行会社、旅客事業者、保険会社社員、大学等研修者 等
内容	(1) 農泊の持続的発展に向けた品質確保の必要性 (2) 農泊に求められる品質の内容と課題 (3) 農泊品質評価の要点と課題 (4) 品質評価を踏まえた支援の方法と課題 (5) 品質評価支援制度の概要
期待される成果	農泊地域における各種施設の品質向上の意義を学ぶことができます。
注記	品質評価支援制度の依頼受付も承ります。

## 23. 販売・情報発信・プロモーション概論

### 「農泊の手引き」 第3章4-1~3

### 基礎編

農泊を実践している地域では、受け入れ体制整備を実施しながら、同時に体制が整ったら集客するための情報発信を実施する必要があります。

人員不足の問題などから後手に回ることが多いとされますが、地域を知ってもらい集客につなげるために重要な情報発信についてまずは基礎的な理解を深めます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	情報発信を実施する協議会等組織の担当者
内容	(1) 農泊地域の情報発信で検討すべきこと (2) 様々な情報発信ツールと特徴 (3) 集客ターゲットを意識した情報発信 (4) 「販売」を意識した情報発信
期待される成果	農泊地域の情報発信の手法について概要を学ぶ
注記	<ul style="list-style-type: none"><li>• 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。</li><li>• 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。</li><li>• 「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。</li></ul>

# • SNSや動画等の発信ツールの効果的な利活用を習得

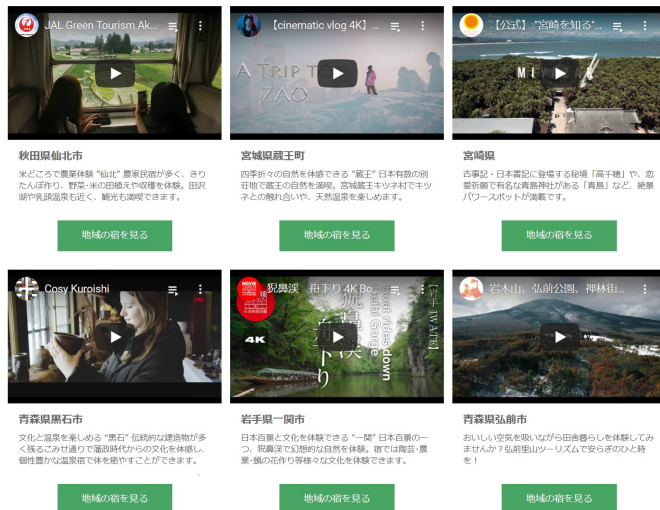
## 24. 情報発信の具体的手法

### 「農泊の手引き」 第3章4-2

### 応用編

本研修では、情報発信を行うべきターゲットの考え方、昨今有効なツールとして注目される動画による情報発信、発信した情報の効果を検証するデジタルマーケティングの基礎を学びます。

おすすめの地域



所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	情報発信を実施する協議会等組織の担当者
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 発信する情報を誰に届けるか</li> <li>(2) 農泊地域を伝える動画の活用</li> <li>(3) 発信した情報の効果を追いかける <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルマーケティング：Google Analyticsの基礎的な理解と活用</li> </ul> </li> </ul>
期待される成果	農泊地域の情報発信の応用として、情報を届けるためのセグメンテーション・ターゲティングの考え方、動画活用、デジタルマーケティングを学ぶ
注記	<ul style="list-style-type: none"> <li>座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。</li> <li>集合研修、個別研修いずれでも対応できます。</li> <li>「ITリテラシー」が同程度のグループでの参加をお勧めします。</li> </ul>



## 25. ファムトリップ企画と実施

### 「農泊の手引き」 第3章4-3

### 応用編

完成度を高めた滞在コンテンツを訴求していくためには、ターゲットとなる対象の人たちのニーズを把握する必要があります。

また、販路を拡大するために、ネットワークを構築することも重要です。

ファムトリップを通じたプロモーションをご支援します。

ターゲットイメージ：マスコミ、旅行会社（インバウンドや教育旅行の担当者など）、法人企業、インフルエンサー等（イメージ）



所要時間	応相談
会員価格	応相談
非会員価格	応相談
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プログラムへの事前アドバイス</li> <li>(2) 受入体制・役割分担の事前確認</li> <li>(3) 集客支援</li> <li>(4) 当日の運営支援</li> <li>(5) ファムトリップの評価・分析と提案</li> </ol>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入にあたっての運営表の作成</li> <li>・ お客様への案内文書の作成</li> <li>・ アンケートの作成と集計、分析と提案</li> </ul>
注記	ターゲット、提供プログラム、集客方法、運営方法等により、内容・ご予算等のご相談に応じます。



## 26. インバウンドの受入と環境整備

### 「農泊の手引き」 第3章4-3

### 応用編

コロナ終息後、世界中の多くの人たちが訪日を望んでおり、モノを買うばかりではなく、日本での様々な体験への期待が大きくなっていることを念頭に置く必要があります。

外国人旅行者は、自然の美を堪能し、伝統文化を体験し、地方コミュニティについて学び、おいしい食べ物に舌鼓を打ち、そしてほかの場所では体験できない稀有で実践的な体験に多くの期待を寄せています。

ここでは、「日本のおもてなしの心」を表現するためのスキル習得と、サービス向上に向けての意識改革と設備改善の必要性を学んでいただきます。

所要時間	2 時間
価格	応相談
受講者像	地域協議会・DMO関係者 等
内容	(1) インバウンドの情勢と傾向 (2) 国・地域別のニーズ (3) 環境整備 (4) 日本在住の外国人との連携事例紹介を交えた講義内容に
期待される成果	インバウンドの受入に関する心構えや環境整備の必要性等を学ぶことができます。
注記	